

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和6年 9月 30日		～ 令和6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和6年 9月 30日		～ 令和6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域の関係機関との連携を図れている。	看護師が常駐しており、感染症などの蔓延しないように他事業所と連携を図りながら支援を行っています。また、感染防止対策も並行して行っている。	感染症防止対策など当事業所から家族・地域の関係機関に向けて、発信できるようにしていく。
2	一人一人の個性を生かしながら少しずつ自立していけるように支援を行っている。	職員間で必要に応じてカンファレンスを行っている。それぞれの専門職からの意見交換をし共通理解し、その児童に応じた支援を行っている。	職員の専門性を高めるために、研修会の参加や事業所内での研修を定期的に行っていく。
3	保護者との面談や連絡帳を通じて子ども達の成長や日々の活動について情報を共有している。	専門的な用語を使用せずに情報を伝えている。SNSを活用しながらリアルタイムな情報を伝えている。	保護者会等を開催し、保護者と従業員との関わる機会を作り、より相談しやすい環境を作っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校休業日における長時間支援ができていない。	学校休業日は、午前10時～12時/午後13時～午後17時までと、1日を通して通所できないのが課題となっている。	必要な人材を確保し、1日通して通所できる体制にしていく。
2	専門職による支援体制が整っていない。	保育士・児童指導員・リハビリなどの専門職による直接的な支援を望まれるが、現状では人材を確保できていない。	必要な人材が確保できるまでは、他部署の従業員と連携を図りながらアドバイスをもらい支援に取り組んでいく。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催ができておらず、保護者同士の交流の機会が作られていない。	家族参加型のイベントの企画を行っていなかった。	父母の会やご兄弟が参加できるようなイベントの企画を行っていく。